

第 76 回 紫友まち歩き

秩父まち歩き

今回は念入りな下調べを実施しての本番、秩父羊山公園の 芝桜と猪鍋をメインに秩父神社見学などをとり入れてのまち歩きと懇親会です。天気の崩れが心配でしたが、無事雨なしで終了しました。

日時： 2017 年 5 月 6 日(土)

集合時間：12 時 00 分

集合場所：西武秩父駅集合

参加者：9 名参加

案内人：025 武馬友義

懇親会：鈴加園（猪料理店にて懇親会）

懇親会参加者：8 名

歩いた歩数：12,578 歩、10 階相当（武馬データによる）

<まち歩き>:

■まち歩き行程

西武秩父駅発→牧水の滝→羊山公園芝桜鑑賞→秩父銘仙館→秩父市街を散策し、秩父神社→秩父まつり会館→秩父鉄道で武州日野駅へ→送迎バスで鈴加園、懇親会→送迎バスで西武秩父駅へ→池袋駅で解散

<スタート>

① 西武秩父駅発：

改札前で集合。帰りの特急 19：25 発を購入。さすが連休で大混雑している。



② 牧水の滝：

大混雑して歩いたので、一本手前の道を進み、銘仙館見学を忘れる。良く晴れていて暑い。若山牧水の滝と水車、歌碑「秩父町出はづれ来ば機をりのうたごゑつづく古し家竝に」を見学。



市街の中から SL の汽笛が聞こえる。

③ 羊山公園芝桜鑑賞：

入場券(300 円)を案内人から受け取る。暑い中、山を登ってきたので、芝桜がどのような状態かを見るのにわくわくする。



案内人の総括です。「芝桜は満開の絶頂期のエリアと少し遅すぎたエリアがあり、100 点満点とは言えなかった。それでも高得点でしょう。芝桜を見ながら、とても良い風を感じることができ

ました。」

記念写真を撮る。武甲山も立派にバックを飾ってくれました。



黒い雨雲らしき雲も出てきたので、少し早めに見学終了。

④ 秩父銘仙館：

羊山公園からの急な下り坂（松坂）の入り口近くに大山祇（つみ）神社がある。ここには結婚や夫婦円満をかなえてくれるという「思いやりの木」があり、木に触って願い事をするという。母なる榊（つが）の木が、桧（ひのき）をまるで抱いているように二本が仲良く生えている。下見会では通り過ぎ、坂の下にあった説明を見てわかっていたので、今回は夫婦円満を願って触ってきた。



急坂を心配していたが、雨でなかったので滑ることもなく無事に下ることができた。



ここにも前回のまち歩きで名前を知ったシャガの花が咲いていた。



来るときに忘れた秩父銘仙館に時間もあるので入館する。



この地域は石灰質で土地が悪く、稲作より養蚕が発展した。秩父銘仙のできるまでが展示され、体験もできる。



アニメの影響か、若い人に着物人気が出ているようで、若い人の見学者も多かった。



後継者育成講座も開かれている。富岡製糸場とは違った体験型かも。

⑤秩父市街を散策し、秩父神社：

お花畑駅（大正6年築、国の登録有形文化財）が秩父鉄道での羊山公園芝桜の最寄り駅。ここをSLも通る。



秩父神社に向かう道には古き時代の建物が残っている。次の写真は、登録有形文化財「小池煙草店」。



秩父神宮は、多くの参拝客が並んでいる。やはり若い人が多い。

ご本殿には様々な彫刻が施されている。

正面左の左甚五郎作伝の「子宝・育の虎」、



左面のよく見て・よく聞いて・よく話す「お元氣三猿」、



後ろの「北辰の梟」、



右面の左甚五郎作伝の「つなぎの龍」



を探し、楽しむ。

秩父宮勢津子妃殿下御手植乳銀杏はどうしてこのように垂れ下がるのだろうか。



柞（ははそ）の森も新緑できれい。



⑥ 秩父まつり会館：

プロジェクションマッピングや3D ハイビジョン映像による秩父夜祭や秩父の各種お祭りの紹介を仮想体験で楽しむ。



ここに飾られている笠鉾は本物ではないそうで、本物は分解されて保管され、秩父夜祭の前日に組み立てられる。このように伝統が引き継がれている。

⑦秩父鉄道で武州日野駅へ：

切符を現金購入すると、今や珍しい硬券が手渡される。武州日野駅で断って、記念にもらう。ここ秩父駅で一名が分かれる。男8名で見送る。武甲山の削られた山肌を見ながら列車は進む。



武州日野辺からは削られていない山の緑を kasuka に楽しむことができる。

⑧送迎バスで鈴加園、懇親会：

10 分弱で目的の谷川のそばにある鈴加園に着く。まだ暑い窓を開けて涼しい風と谷川や武甲山などの山に囲まれた緑を楽しむ。中央奥が武甲山。



料理は、相談の結果いろいろと楽しめるように 4 人前の熊・猪・鹿肉の石板焼きと猪鍋を、8 人で食べられるように案内人は願います。



(左から上に向かって熊、猪、鹿の肉)



山菜のおとしや岩魚・アユの塩焼きなどを楽しむ。ゆっくりした気分でビール、日本酒を楽しむ、ご飯はおにぎりで持ち帰ることにした。フキのお土産を購入する人もあり。

⑨送迎バスで西武秩父駅へ：

西武秩父駅で案内人は、列車内での飲み物を購入してくれた。席はバラバラなので、各自楽しむ。なぜか 5 人が集まり楽しんだともいう。

⑩池袋駅で解散：

一応集まり解散。一部の人たちは池袋の町に消えていった。

お疲れさまでした。

別 報 <秩父まち歩き：下見会>

日時： 2017 年 4 月 1 日(土)

集合時間：9 時 00 分

集合場所：西武池袋駅地上改札前集合

参加者：10 名参加

案内人：025 武馬友義

懇親会：鈴加園（猪料理店にて懇親会）

懇親会参加者：10 名

歩いた歩数：15,801 歩（武馬データによる）

■下見会行程

09：20 発飯能行急行⇒飯能乗り換え西武秩父行普通列車⇒西武秩父駅⇒秩父蕎麦の昼食⇒（徒歩）羊山公園⇒（徒歩）秩父神社⇒（徒歩）秩父鉄道秩父駅⇒武州日野駅⇒（徒歩）水芭蕉園とかたくり園⇒武州日野駅⇒（送迎バス）猪鍋料理店（約 2 時間）⇒（送迎バス）西武秩父駅⇒池袋着、解散

■下見会の思い出と感想

天候が不安だったけれど、全行程、傘なしで行動できてよかった。

雨と寒さ対策をしてきた人達。



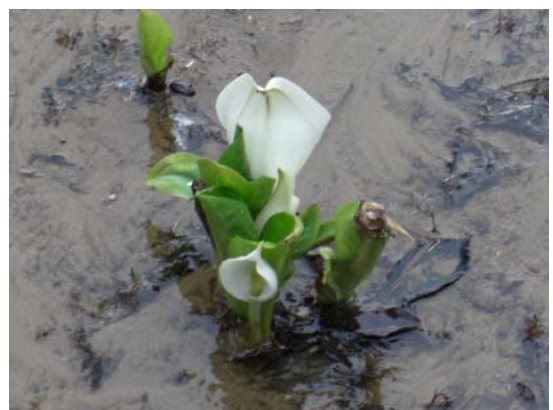
駅のそばの蕎麦屋「立花」の美人つけそばや日本酒のつまみを頼む。



芝桜より武甲山の雪景色に目が行く。



武州日野駅そばでのカタクリと水芭蕉の見学。
これからの春を楽しむ。



鈴加園の懇親会には、親切親父がアユやイワナの食べ方を指導してくれた。



ジビエや下見会にも満足して池袋へ帰る。なお、ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉（フランス語）で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化だそうです。

案内人の感想。朝から 1 日お付き合い頂き有難うございました。残念ながら期待した桜は全く NG でしたが、早咲きの芝桜を少しだけでも鑑賞出来て良かったと思います。カタクリと水芭蕉はちょっとがっかりする規模でしたが、一応開花を確認できました。猪鍋ではなく、猪鹿熊（猪鹿蝶ではなく）の石焼もそこそこだったでしょうか？

■下見会でできた短歌

秩父は山懐の落ち着いた良いまちですね。と 017 松木さんの短歌です。

連山に取り巻かれたる秩父といへ
武甲山こそ抜きんでたるを

山肌をかくも削がれし武甲山を
秩父のひとらは日々如何に見ん

武甲山を雪は包めり無慚なる
掘削傷を庇ふがごとく

秩父銘仙の看板のあるあたりより
羊山へと坂道となる

羊山のベンチに武甲山と向き合ひぬ
「秩父の空気は美味しいですね」

猪の掘れるか土のぐしやぐしやと
乱れたる穴を道に見て過ぐ

カタクリも水芭蕉の花も未だしも
清き未完といふはあるべし

剥がしたる熊の毛皮の硬き毛よ
冬眠の穴に入りて撃ちしと

生きて在るこの一夕を山峡に
仲間と分かち浅春の酒